

野田がん哲学外来&メディカルカフェの開設

カフェ主宰 高野 みどり

平成 23 年 4 月に春日部の地に、がん哲学外来が開所され僅か 3 年の間に現在 10 か所になりました。昨年は埼玉のチームで「彩の国合同シンポジウム」を開催しました。

そんな中、療養中の主人の生活環境を考えて H27 年 2 月に移り住んだ千葉県野田市には、がん哲学外来メディカルカフェは有りませんでした。野田市というより千葉県には唯一樋野先生が行っている柏がん哲学外来がありました。そこで、がん哲学外来に行ってみたくと思われる方が来れるようにしたいとの思いで、先ず居住地の野田市に開所することを決意しました。

春日部の開所は、教会という特殊性からスタッフは当初から与えられました。今回は真っ新なところからの出発です。会場の確保・チラシ作りに始まり広報活動に奔走しました。愈々、開所式を迎えました。

H27 年 5 月 3 日(祭日)、公民館を会場にして「今日生きるいのちの言葉」をテーマに、樋野先生の講演会とバイオリンの演奏そしてがん体験者のメッセージや地域のがん患者様の在宅支援をサポートするがん哲学外来ナース部会のメンバーの力を借りてのスタートでした。

「神は御心のままにあなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる」ペリピ 2:13 との約束を確信するように、第 1 回目に参加された中から、主要なスタッフは起こされました。

先日の 2 月 26 日にはスタッフでもある埼玉県立がんセンターの麻酔医の茂木康一先生の「痛みとの付き合い方」を開催し、カフェでは涙する場面もありましたが、帰る時には「楽しかった」と口々に言われたことが印象的でした。スタッフの一人は「みんなが笑っていただけるカフェにしたい」との願いをもってこれからもがんカフェをいのちの限り続けられる事でしょう。

この一年の間に千葉県も「ながれやまカフェ」「花一輪カフェ」が仲間に加えられ 4 か所となりました。埼玉のように次々と開所される兆しを感じる今日この頃です。

がん哲学外来とがん哲学カフェのあり方

一般社団法人がん哲学外来 理事 前川 信

がん哲学外来の活動にかかわり、足掛け 10 年の歳月が過ぎました。活動を始めた当時は、がん哲学外来という言葉そのものが未知であり、その活動の意味するところも理解されておらず、樋野先生が孤軍奮闘するこの活動を広く社会に周知すべく、啓発活動が続けてきました。その結果、今や全国で 120 か所以上のがん哲学外来やがん哲学カフェが開催されるようになりました。また、がん哲学外来市民学会による「がん哲学外来認定コーディネーター制度」も整備され、これからは「各自がどのような役割を目指すのか」が問われています。

当初はボランティアの手弁当によって始められたがん哲学外来やがん哲学カフェも数が増えるにつれて、さまざまな団体や企業が主宰するケースが多くなってきました。現在は、認定団体としての申し込み制となっていますが、今後は開設する際のガイドラインや倫理基準の整備と遵守が求められることになるでしょう。「患者さんやご家族が必要としているのに、私たちが提供していないもの」があるか、また「患者さんやご家族のために、私たちが提供すべきではないもの」があるかを峻別することが大切だと思います。

患者さんやご家族に寄り添い、よき理解者として共感できる「人材」と「場所」の提供が、がん哲学外来やがん哲学カフェの役割だと思う今日この頃です。

～がん哲学外来&カフェ～

軽井沢病院 会議室にて (3月20日)

信州大学がん哲学外来
in軽井沢

がん哲学外来カフェとは

がんの告知を受けた時に誰しも抱える「悩み・不安・思い・願望」… 医療現場と患者の間にある「医療の隙間」を埋めるべく立場をこえて集う対話の場です。今回は軽井沢の地に、がん哲学外来創始者の樋野 興夫先生をお招きしました。患者と家族3000人との対話から生まれた、どんな境遇であっても「人はいかにして生きるか」という人生の基軸になるような言葉の処方箋をみなで共有しませんか。サロン形式で語り合います。



樋野 興夫 教授
(順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座)



平成 29 年 3 月 20 日 (月・祝) 12:00~14:00 開場 11:30

定員 15 名 (先着順) 参加費無料

がん患者の方や病氣でお悩みの方、その家族や友人、ご興味のある方

申込用紙に記入の上、TEL・FAX・メールにてお申し込み下さい。



信州大学付属病院長の本郷先生(写真右)が挨拶されました。



★野田カフェを応援して下さい
る春日部のスタッフの皆さん

彩の国がん哲学外来カフェ 合同シンポジウム

2018年 11月23日(水・祝) 13:00~16:00

対話する医療

～がん哲学外来の目指すこと～

第1部 基礎講演

第2部 パネルディスカッション

第3部 ミニコンサート

入場無料

★彩の国がん哲学外来
カフェ「合同シンポ」

がん哲学外来研修センター (佐久市前山 321-3)

mail: kenkokobo@hb.tpl.jp

(編集発行責任者: 星野 昭江)